

# 金融経済学部

## 資産運用学科 カリキュラム・ポリシー

資産運用学科は、ディプロマ・ポリシーに基づき、次のような教育課程編成方針を定めています。この方針は、金融や資産運用に関する知識は、現代においては生活人として、企業人として、金融関係者として求められる汎用性のあるリテラシーであるとの考えを基礎としています。

### (1) 獲得すべき力

- ・友人、同僚、上司と正面から向き合う「人間力」【CP-A-1-1】
- ・自分と異なる他者の意見をも『聴く』ことができる「双方向のコミュニケーション力」【CP-A-1-2】
- ・金融や資本市場、資産運用、簿記・会計、ビジネスIT等の分野における基礎的な概要を説明できる「知識・理解力」【CP-A-1-3】
- ・資産運用分野における「科学的思考力」による「判断力」や「決断力」【CP-A-1-4】
- ・資産運用分野における問題解決へのプランの提供や実際に取り組む「行動力」【CP-A-1-5】
- ・社会の発展のために貢献するための「倫理観」と「責任感」【CP-A-1-6】
- ・資産運用分野において、常に創造的な思考力を駆使できる力【CP-A-1-7】

### (2) 学修内容

#### ・初年次教育

大学では、高校までの授業と異なり、主体的な学習が求められます。このため入学後の大学での学修に必要となる基礎的な能力である言語能力（日本語・外国語）、数学、パソコン操作に関する能力を育成します。また、基礎ゼミ1（必修科目）では、入学生の多様性を考慮して、2年次以降の学修計画の策定をサポートしたり、グループ作業を実践することで、文章力やコミュニケーション力を高めたりすることも狙いとしています。さらに、担当教員が学生の特質や特徴に応じたきめの細かい指導やサポートをします。【CP-A-2-1】

#### ・教養教育

総合科目は、よりよい暮らしを願い、よりよい社会を築いていこうとするすべての人々の願いに応えることのできる基本的知識（人間・社会そして自然に関する基本的知識）を教育します。また、異なった文化を持つ地域の人々と交流し、相互理解できる力、さらには健康で生涯を力

強く生きていくことのできる方法についても学べるように「人文・社会・科学群」、「語学群」、「自立形成群」「健康・スポーツ群」の4群を配置して、バランスの取れた幅広い教養教育を行います。【CP-A-2-2】

#### ・専門教育

基礎専門科目（数学・情報処理、法律、経営、経済金融、簿記・会計）と専門科目（コース別の専門科目）とに分類し、証券、経済、法律、簿記・会計等、実務につながる様々な分野の基礎的な部分を段階的に履修し、知識の幅を広げてゆきます。

また、自分に合った実務的な知識やスキルを修得できるように5つのコースを設け、カリキュラムの編成と科目配置をしています。これは、学生の多様性に配慮する一方で、社会人になったときに役立つ実務の専門性を養成する趣旨から設定しています。このコース選択をする際には、コース選択を過度に意識する必要はなく、社会人として必要とされる知識や能力を養成する基礎専門科目を修得したうえで、各人の関心や志向に合わせて専門科目を選択していく形となります。【CP-A-2-3】

#### ・キャリア教育

キャリア形成していくうえで基礎となる能力（リテラシー）の養成や将来の人生設計（キャリアデザイン）を考える機会の提供を行います。学修の成果を確認する趣旨から、それぞれのコースの履修内容に沿った、専門性の高い資格取得を奨励しています。具体的には、証券アナリスト、FP（フィナンシャル・プランナー）、簿記・税理士、宅地建物取引士、証券外務員、SAS（統計分析ソフト）認定資格、英語（TOEIC等）等です。専門ゼミ1と2での学修と並行して、卒業後の進路指導（就活や大学院進学）も実施しています。【CP-A-2-4】

### (3) 教育方法

・学生が自ら長期的に学修状況を振り返り主体的に学習する支援ツール OECU MyPage に目標や大学での活動内容を記載していくことで、自分自身の振り返りを行います。また、記載内容に対して、グループ担任がコメントを返します。【CP-A-3-1】

・1・2年次は、基礎的な素養の再確認・底上げと合わせ、専門科目の基礎的な部分を幅広く教育します。また、学生の多様性に対応できるように、基礎ゼミにおいて個人別のきめの細かい学修指導をおこなっています。【CP-A-3-2】

・3年次からは、将来の進路を展望しながら専門分野ごとのコースを選択します。さらに少人数のゼミに所属し、担当教員のもとで専門性の高い知識・スキルを修得します。【CP-A-3-3】

・専門ゼミではディスカッションやプレゼンテーションを実践することを通じて、ソーシャル・スキルやコミュニケーション能力を磨きます。

【CP-A-3-4】

### (4) 学修成果の評価

・修学要綱に定める GPA を用いて、修学指導を行います。また、GPA は、学業優秀賞、各種奨学金の対象者選抜等に用います。【CP-A-4-1】

- ・各学期末に、各科目の成績を評価観点の割合で積算し、他の履修学生と比較した学修効果測定グラフを **OECU MyPage** 上で提示します。また、学科が定めるスキル分野の単位修得状況も **OECU MyPage** 上で提示します。【CP-A-4-2】
- ・前期と後期でそれぞれ成績表を所属ゼミの担当教員から配付し、成績の結果のふり返りと今後の履修計画についての相談と指導を個別の学生ごとに実施します。【CP-A-4-3】

(5) 進路

資産運用学科の卒業生は、資産運用、金融商品販売、不動産営業、企業財務、営業・総務その他幅広い実務に関わる分野への進路を選択しています。【CP-A-5-1】